



発行日 令和4年11月発行 第108号

発行元 社会医療法人 昂和会 内山病院 編集委員会

連絡先 鹿児島県阿久根市高松町2番地

TEL:0996-73-1551

FAX:0996-73-4636

Homepage <http://www.uchimt.com/>

E-mail uchimt@uchimt.com



巻 頭 言

巻頭言・・・P1

部署紹介・・・P2

行事紹介・・・P3

診療一口メモ・・・P2

委員会活動・・・P2～P3

編集後記・・・P4

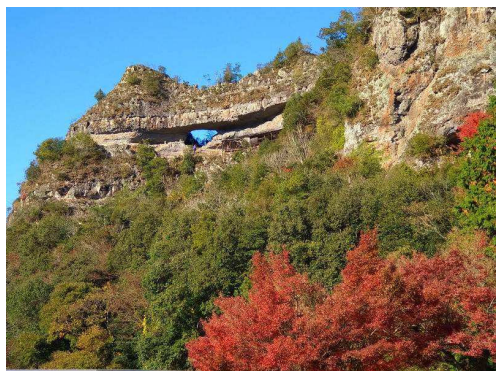
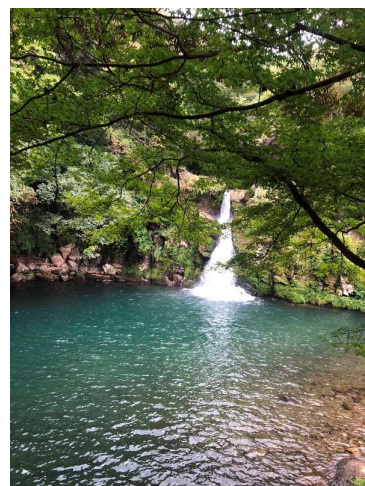
副院長 古郷 修一郎

令和4年6月から当院に副院長として着任しました古郷 修一郎です。専門は泌尿器科で、これまでは腹腔鏡を用いた癌手術や、尿管鏡を用いた尿路結石砕石術などの手術をメインにやってきました。また大学病院に勤務していた際は、末期腎不全の治療として血液透析以外に腎移植治療にも従事してきました。勤務して数カ月経ちましたが、これから先求められるものはこれまでの専門性よりはむしろ地域のかかりつけ医としてのPrimary careであろうということです。

当院を訪れる患者さんの訴えは様々です。最初から病名が分かっていることはあまりありません。大病院で紹介状をもって来る患者さんをみることは大違いです。患者さんの何気ない訴えを見落とさず、診察し精査し診断していきます。患者さんの訴えが自分の専門外だから患者を診ないなどという考えはありません。そのようなことが許されるのは、各科の専門に特化した大学病院などの一部の病院だけでしょう。Primary care は自分で患者を直接みて精査し診断の当たりをつけ、専門医にコンサルトした方がよいかどうかを見極めることが大事だと思うのです。幸い当院には非常勤で循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、血液内科の先生方が来られているので、自分で手におえない症例に出くわした時はとても助かります。また現在一緒に働いている院長、阿邊山先生、伊藤先生、松本先生も自分の専門外の患者さんを外来・入院ともに多数診ておられ見習うことが多いです。

入院患者さんは急性期病院とは違い手術や治療をすれば病気が治るという患者さんは少なく、残念ながら寝たきりで食事摂取もままならない方がほとんどです。当院で勤務し始めこのような患者さんを受け持ち思い出したことは「病気を診ずして病人を診よ」という医師になった最初の時期に聞かされた有名な言葉です。これは病気を診ないという意味ではありません。患者を診ずして採血データやCT画像などで判断するなという戒めの言葉です。もの言えぬ患者であってもデータには表れない、患者さんの訴えや思いをくみ取ることが大事なのだと思うのです。このような患者さんの病気自体を治すことは困難かもしれませんが、患者さんとその家族の心の苦しみを和らげることはできるはずです。看護師やスタッフも患者のそばに寄り添い、家族の問題や社会的な側面にも目を向けて全人的な看護を行っており、その姿には深く感動しています。

勤務し始めまだ日は浅いですが生まれ育った阿久根の医療に、皆さまの力を借りながら少しでも貢献できればと日々奮闘している今日このごろであります。



診療一口メモ

糖尿病内科 松下 敬亮

本記事をご覧いただいている方の中にも、ご自身もしくはご家族が糖尿病を抱えていらっしゃる方は多いかと思いますが。世界中で糖尿病もしくは糖尿病予備軍の方は8億人ほどいわれていると言われています。ありふれた病気とお考えかもしれませんが、糖尿病の怖さは、水面下で進行していく、ということにあります。アメリカの医学者、ウィリアム・オスラーは、人は血管とともに老いる、という言葉を残しておりますが、まさしく糖尿病は気付かない内に血管を老化させる病気です。人間の体中には大きい血管、小さい血管が張り巡らされています。動脈硬化が進むと心筋梗塞、脳梗塞が起こりやすくなってしまい、細かい血管が詰まると目の網膜が出血したり、腎臓の機能が弱くなってしまい、ゆくゆくは透析になってしまう方もいらっしゃいます。症状が進行する前に、早期の治療介入が糖尿病治療に関しては非常に重要となってきます。糖尿病の治療に関して、ここ20年の進歩は目覚ましいものがありました。以前は血糖を下げるだけの薬やインスリン治療が主流でありましたが、最近では体重を減らしやすしたり、心臓や腎臓を守りながら治療できるような種類の薬が数多く開発され、以前だったらインスリンでしか治療できないような方も、内服のお薬のみで管理できるような場合も増えてきました。注射での治療はどうしても抵抗があるとお考えの方も、ご相談いただければ、各々のニーズに合わせた治療を選択することもできるかもしれません。一番血管を老化させてしまう原因は長い間血糖値が高い状態で放置されてしまうことです。糖尿病もしくは予備軍ともし診断された際には、ご気軽になんでもご相談ください。

部署紹介

3病棟 看護師 永岩 拓巳

現在3病棟は看護師16名、介護福祉士・ケアワーカー10名のスタッフで日々患者様の療養上の世話や日常生活の援助を行っています。

看護師の業務内容としては、患者様のバイタルサイン測定やオムツ交換・食事・入浴介助・検査誘導・医師の指示の元採血や点滴・輸血等もしています。介護・ケアワーカーの業務内容としてはオムツ交換・食事介助・環境整備・汚染出し等の業務を行っています。色々な疾患を持っている患者様に個別性のあるケアを提供できるように日々努力しています。

現在はコロナ感染も多くなってきており、患者様の健康管理や発熱・症状の早期発見・治療にスタッフ一丸となって取り組んでいます。自分自身の健康管理をしっかり行い、今後も励んでいきたいと思っています。



委員会活動

リハビリテーション運営委員会

理学療法士 中村 美和

リハビリテーション運営委員会は、内山病院における外来・入院・通所・訪問リハビリテーション等のリハビリテーションの現状を把握し、リハビリテーションの質の改善・向上を検討し、リハビリテーションの安全で効

率的な提供・運用（計画的な退院の促し等）が行える事を目的としています。

また、患者（入院・外来）、利用者（通所リハビリ・訪問リハビリ）、家族、職員へのリハビリテーション指導・教育についても検討しています。多職種の皆様に参加して頂き、各部門との連携向上にも取り組んでいますので、今後も御協力をよろしくお願い致します。

行事紹介

真和苑 敬老会

真和苑では9/20に敬老会を行いました。今年は参加型の催しを行いたいと考え、話し合いの結果、『ご長寿クイズ』を行いました。

各ユニットで予選クイズを行い、決勝は各ユニット代表で精鋭ぞろいの戦いとなりました。

司会「問題です。うらしま太郎、玉手箱を開けてどうなった？」

・・・“チーン”（早押しボタンは呼び出しベルで代用）

司会「はい、A様！」

A様「玉手箱を開けて・・・煙が出てきた！」

司会「そうですね、煙が出てきて、その後どうなりました？」

“チーン”

司会「はい！B様！」

B様「玉手箱を開けて・・・煙が出てきて・・・」

司会「その後どうなりました？」

B様「しゃぶしゃぶ！」

他全員「しゃぶしゃぶ？？？」

一同大笑いでした。この後もお名答、珍解答で盛り上がり、笑顔で皆様元気に、職員もご長寿パワーをいただきながら楽しい敬老会となりました。



個人情報保護法により、早蕨掲載の写真及び名前については本人の同意を得ています。

基本理念

- 1 質の高い思いやりのある医療福祉の実現
- 2 地域に必要とされる医療福祉施設に育成・発展させる

基本方針

- 1 患者の立場に立った高齢者医療介護福祉施設の充実に積極的に寄与する
- 2 プライマリーケアを実践する中で、今までの実績の更なる積み重ねと時代の求めに応じた拡大を目指す
- 3 人材の育成
- 4 経営の安定化・事業の展開
- 5 品質管理（危機管理・安全管理・利用者の満足度向上）

患者の権利

- 1 患者様は、「平等で良質な医療を受ける権利」があります。
- 2 患者様は、「選択と自己決定の権利」があります。
- 3 患者様は、「個人の秘密保持・情報に関する権利」があります。
- 4 患者様は、「尊厳性の権利」があります。
- 5 患者様は、「安全が確保される権利」があります。

患者様の義務

- 1 患者様は、ご自身の健康に関する情報を提供する義務があります。
- 2 患者様は、病院のルールを守り、医療に参加する義務があります。
- 3 患者様は、他の患者様の医療を妨害しない義務があります。
- 4 患者様は、医療費を支払う義務があります。

編集後記

台風一過、被害の方はどうだったでしょうか？夏の暑さもだいぶおさまり過ぎやすくなってきました。又、新型コロナの5回目のワクチン接種も始まりました、が感染状況はなかなか収まらず不安な日々が続いています。日中の気温差も大きく体調を崩しやすい季節です。皆様も体調管理に気をつけてください。さて、このたび皆様の御協力により「早蕨第108号」を発行することが出来ました。原稿をお寄せ頂いた方々には、大変感謝申し上げます。今後とも、昴和会を宜しく願います。

永岩拓巳・西原口靖・油木 翔子